

水戸市史

上卷

発刊のことば

各方面から久しく待望されていましたが「水戸市史」(全三巻)上巻が、いよいよ刊行の運びとなりました。

かつて、水戸市は、市制施行五〇周年を迎えて、市史編さんに着手しましたが、不慮の災害によってその意を果たしえなかったため、このたび七〇周年の記念事業として、再び新たな構想のもとに編さんの企画をおこし、ここに多年の懸案をようやく実現できることになりました。

終戦後、全国的に地域社会の歴史編さんが盛んに行なわれるようになりましたが、これは決して偶然のことではなく、新しい郷土の建設は、何よりも郷土の歩みに対する深い反省に根ざすものでなければならないという自覚が、一般に広まった結果であるといえましょう。

私どもも、このような考えから、市史編さんを計画したのでありますが、水戸といえば「史の都」としてあまねく世に知られているとおり、その歴史は起伏にとみ、とりわけ幕末維新期には波瀾万丈をきわめただけに、世の評価もさまざまであります。

そこで私どもは、水戸市民として、「史の都」の実相を正しく見究め、狭い郷土意識にとらわれることなく、水戸の歴史を明らかにして、これを長く後世に伝えたいとの強い念願から、広く史料を集め、厳正な史実に拠りつつしかも郷土性の豊かな市史をつくりたいと慎重な検討を重ねてきたのであります。

水戸市が一大広域都市の建設を目指す今日、この市史によって郷土先人の足跡に思いを馳せ、明日への飛躍を期することができるならば、幸いこの上もありません。

刊行にあたり、東京大学教授伊東多三郎氏ならびに茨城大学教授瀬

谷義彦氏をはじめ、この困難な編さんに関係された各位のご努力に対し心から感謝の意を表するとともに、快く史料を提供して下さった多くの方々にも厚く御礼を申し上げる次第です。

昭和三十八年九月吉日

水戸市長 山本敏雄

再版に際して

本市が市制施行七〇周年の記念事業として、市史編さんの大事業に着手し、昭和三十八年その第一冊上巻が出版されましてから、すでに十三年になりますが、ただいまは中巻（四）（幕末編）の刊行を期して、執筆関係者の方々が努力されていますことは、ご承知の通りであります。

本市史は上巻出版以来冊を重ねるごとに、市民の皆さまからはもちろん、広く全国各地からのご要望が強く、上巻はすでに第四刷まで刊行し、それもすでに在庫がなくなりましたので、今回第五刷を出すことになりましたが、版もいたみましたのを機会に、第一刷当時の町村名、町名、機関名等で、その後変更のあったものなどについては、これを改めるなどして、ここに再版第五刷を発刊することになりました。

このように地方の市町村史が、版を重ねるということは、全国的にも余り例のないことと聞いておりますが、本市史が幸いにも広く多くの方々に読まれておりますことは、ひとえに主幹東京大学名誉教授伊東多三郎氏並びに幹事茨城大学教授瀬谷義彦氏をはじめ、関係者の方々のご尽力の賜と、改めて厚く感謝の意を表する次第であります。

今後の水戸市史は動乱の幕末期、更に維新时期とその史実の重要性から、完成にはなお幾多の困難が予想され、多大の努力が必要であります。それをのり越えて関係者一同の協力によって優れた内容の郷土史を完成して、市民に提供したいと思えます。皆さまのご後援とご協力をお願いいたします。

昭和五十一年十月

水戸市長 和田祐之介

凡 例

一、水戸市史は上、中、下三巻とし、各巻の内容は次のとおりである。

上巻 総説、自然と人文、および原始古代から佐竹氏時代まで

中巻 水戸藩時代

下巻 明治、大正、昭和時代、および別篇

一、各巻ごとに章を立て、また各巻末に付録として、参考史料と年表をおさめた。

一、本文のうち、特殊な歴史上の用語や引用文以外は、できるだけ当用漢字、現代仮名づかいで統一した。

一、引用史料は読み下しを原則としたが、とくに興味深いものは原文のまま引用した。

一、地名は現地名と対照し、年号にも適宜西暦を注記した。

一、題せんは茨城大学教授関南沖氏の揮ごうによる。

一、見返し絵は水戸出身横山大観画伯の筆になるもので、加藤芝氏および大塚巧芸社の提供による。

一、本巻の史料調査・収集について便宜を与えられた、下記そのほか神社・寺院および市民の方々に心から感謝の意を表する。

東京大学史料編纂所

内閣文庫

静嘉堂文庫

宮内庁書陵部

秋田県庁

秋田県立図書館

鹿島神宮

水戸彰考館

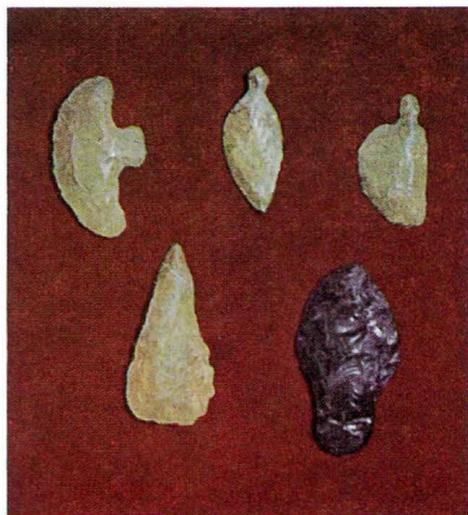
茨城大学図書館

茨城県立図書館

自衛隊茨城地方連絡部

一、第九章に収めた城、館実測図の凡例は下の通りである。

	宅地		星
	家屋		復元星
	地目境		堀
	神社・寺院		復元堀
	墓		復元城域
	針葉樹		道路・橋
	闊葉樹		復元道
	竹林		復元樹
	草地		水路
	普通畑		復元水路
	茶園		池沼
	桑園		崖
	苗木畑		等高線
	水田		断面現在
	湿田		回復元



石小刀(石さじ)



ヘアーピン



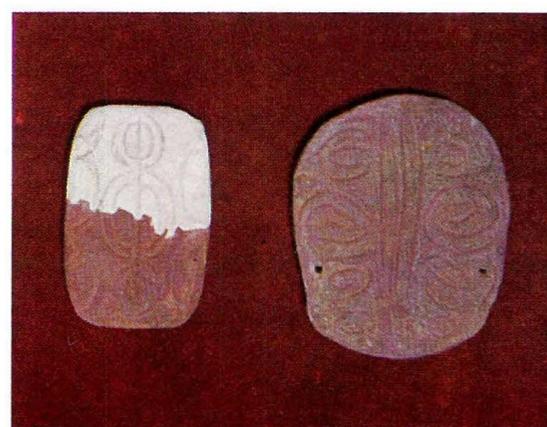
石斧



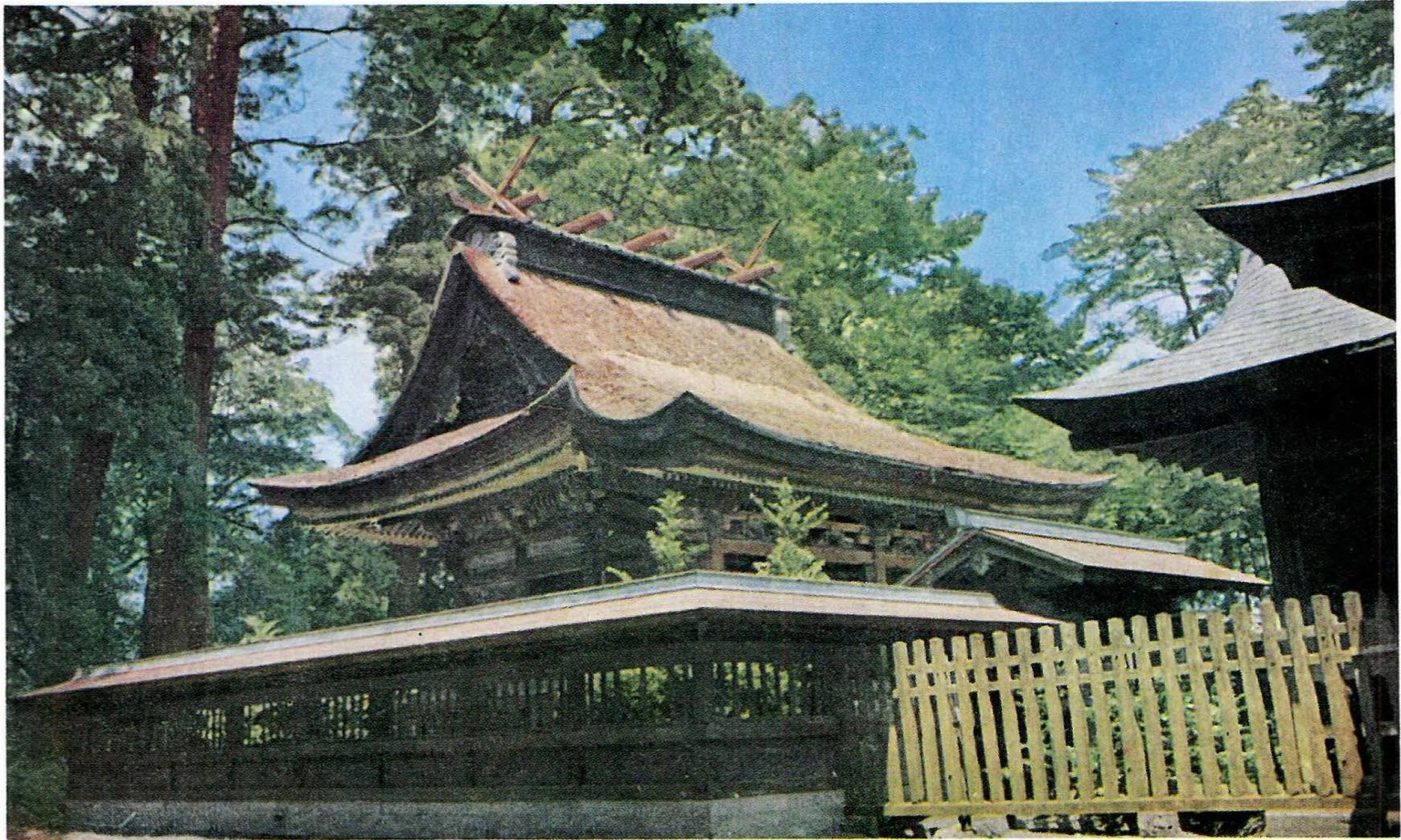
貝輪



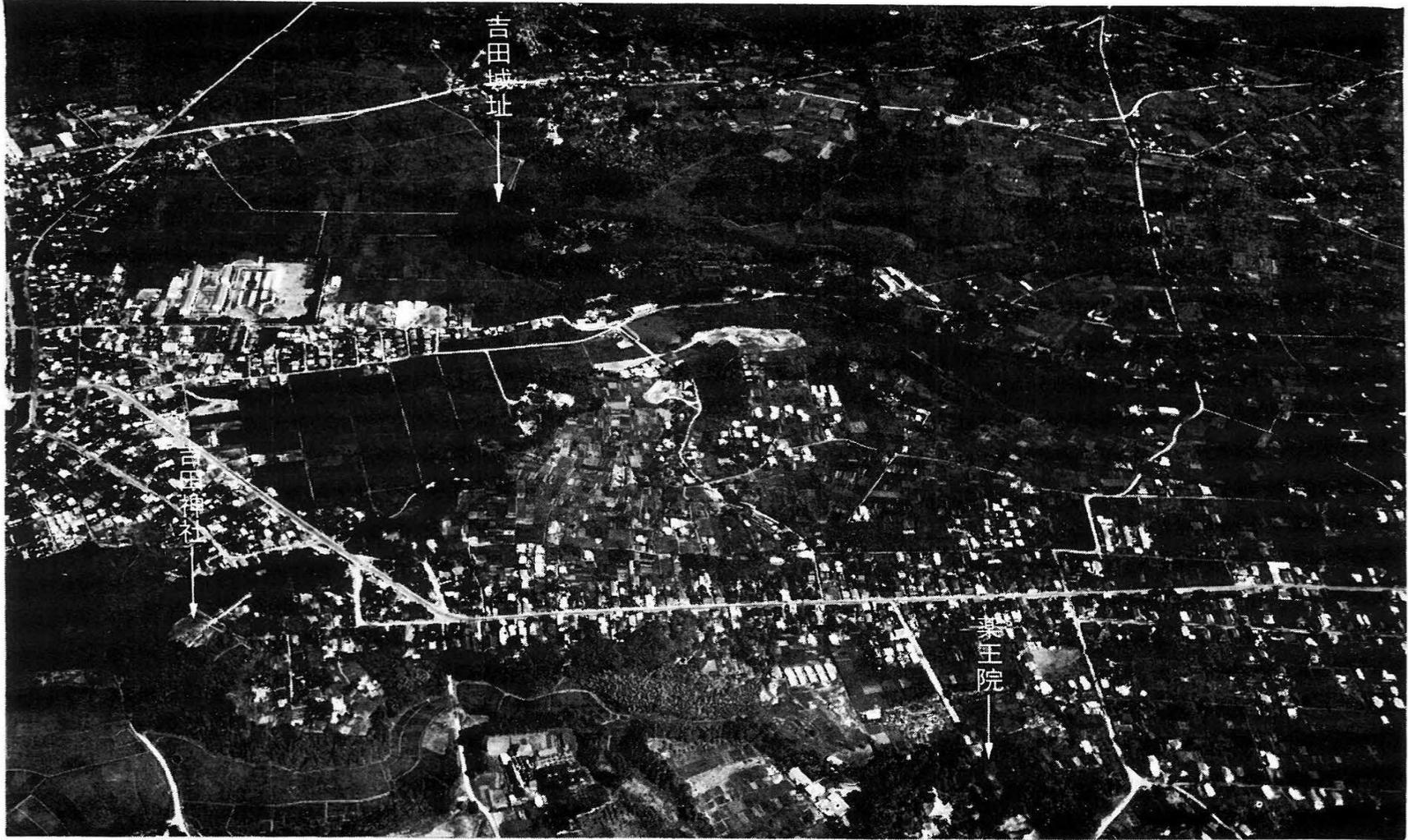
谷田遺跡出土石器-谷田町-(後藤清一氏所蔵)



版



水戸八幡宮本殿（國指定重要文化財）－八幡町－



空から見た吉田台地（吉田城址・吉田神社・薬王院）